



姉妹都市フッドリバー市から訪問団が来町

# 広がり続ける交流の輪



△鶴田中学校吹奏楽部の生徒から歓迎を受けた訪問団の皆さん

以前、当町で国際交流員として勤務した経験があり、今日の両市町の姉妹都市交流の架け橋として現在も活躍しており、町民との再会を喜んでいました。

10日(水)には、訪問団が鶴田中学校を訪れ、生徒たちと交流しました。吹奏楽部の演奏で歓迎を受けた後、訪問団は、柔道部の練習を見学。背負い投げや払い腰

## 訪問団が鶴田町で過ごした日々

8月9日(火)から17日(水)まで、姉妹都市盟約を結ぶ米国オレゴン州フッドリバー市から訪問団が来町し、町民との交流を深めました。

8月9日(火)の夜、フッドリバー市からの訪問団を乗せたバスが鶴田町役場に到着しました。役場前には、ホストファミリーや、フッドリバー市民と親しくする会、今年3月にフッドリバーを訪問した中学生大使など、たくさんの方々が集まり、訪問団を出迎えました。

などの技で相手を畳の上に投げた光景に拍手をして喜んだほか、柔道着を着て柔道部の生徒と技のかけ方や受け身の体験をして(3ページ写真①)、訪問団と生徒たちは少しずつ距離を縮めていきました。

12日(金)には、国際交流会館で歓迎会が行われました。今年3月にフッドリバー市を訪問した第32回中学生大使の小野龍時さんと開米響さんが「お会いできてうれしいです。鶴田町のホームステイを楽しんでください」と歓迎の言葉を贈ると、訪問団員のクリスティさんは「姉妹都市交流はとても素晴らしい。皆さんとお互いに交流で



△歓迎会では訪問団が和太鼓を体験

## 姉妹都市フッドリバー市との交流の歴史

フッドリバー市とは、国際化時代に対応した人づくりを目指し、昭和52年(1977年)に姉妹都市盟約を締結。翌年(昭和53年)、フッドリバー市から訪問団が初めて当町を訪れました。今日まで続く鶴田町とフッドリバー市との「人」の交流は、ここから始まりました。

昭和54年には当町から第1号となる留学生が派遣され、昭和56年にはフッドリバー市からも留学生が来町しました。また、昭和59年から中学生大使の派遣が始まると、翌年(昭和60年)からはフッドリバー市の中学生・高校生大使も来町するようになりました。当町からの中学生大使は今年3月の派遣で32回を数えます。

これまでに当町とフッドリバー市を行き来した中学生・高校生大使や留学生、親善訪問団は合わせて1711人へのぼります(8月19日現在)。それと同時に、数え切れない友情と絆を育んできました。今回の来町でもまた、訪問団と町民が心に残る交流をし、互いに友情を深め合い、国際交流の輪をさらに大きく広げました。



きることを大切にしたい」と日本語であいさつ。続いて、アビゲイル・ランキンさんとミーカ・マックナイトさんが「鶴田町に来るのが楽しみでした。こんな素敵な町と姉妹都市となり、素晴らしい機会に恵まれて、私たちは心から感謝しています」と述べました。

相川町長もまた「たくさんの忘れられない思い出を作り、友好の輪を広げてください」と歓迎。鶴田町を訪れたフッドリバー市民の証である「名誉町民証」と祭りの半纏を訪問団員に贈りました。

歓迎会では、第32回中学生大使の皆さんによるフッドリバー訪問体験発表が行われたほか、

アトラクションとして、鶴田町太鼓の会が和太鼓や五ツ太鼓の演奏を披露。訪問団の皆さんは生で見る太鼓の演奏に目を輝かせ、バチを持つて和太鼓の音出しも体験しました。

滞在中、訪問団は丹頂鶴自然公園や歴史文化伝承館などの町の観光施設も見学。特に、鶴の舞橋には感動し、橋の上から富士見湖を眺めたり、記念撮影をしていました(写真②)。

町民との交流では、ジュニアリーダーズクラブと流しそめん(写真③)やスポーツなどのレクリエーションを行ったほか、「つるたまつり」の龍巻寿司やねぶた運行へ参加し、町民と一緒に祭りを楽しみました。

### ホストファミリーと心を通わせた時間

滞在中、訪問団は町民の家庭にホームステイし、ホストファミリーと生活を共にしながら、心を通わせました。

昨年(平成27年)、第31回中学生大使としてフッドリバー市を訪ねた石岡侗奈さんの家は、アビゲイル・ランキンさん、タレン・シリングさん、レイン・ビーカーさんの3人がホームステイしました。

鶴田町に着いて初めて一緒に食べる夕食では、焼き魚や天ぷら、肉じゃがなどの日本食がテーブルの上に並び、3人は箸を上手に使っておいしく食べてい

私たちは今年の3月に鶴田町からフッドリバーにやってきた中学生大使と出会いました。中学生大使の皆さんを見て、「日本に行けたら、素晴らしい経験ができるかな」と思いました。鶴田町はフッドリバーとたくさん似ている所や違う所があるので、鶴田町に来るのが楽しみでした。似ている所は例えば、農園が多いところです。違う所は食文化と人口です。

鶴田町でたくさんの思い出をつくりたいです。こんな素敵な町と姉妹都市となり、素晴らしい機会に恵まれて、私たちは心から感謝しています。



フッドリバー訪問団  
アビゲイル・ランキン  
ミーカ・マックナイト

鶴田町と姉妹都市になったことを心から感謝しています



フッドリバー訪問団  
クリスティ・ヴァン・ドールン

お互いの交流が永遠に続くことを願います



ました。  
 ホストファミリーと初めて一緒に過ごす時間。最初は会話をしたくても、お互いの言語がわからないため、無言の時間が続きました。それでも、ジェスチャーや知っている単語を使って話すうちに、会話が少しずつ通じ合うようになり、互いの顔には笑みがこぼれていました。  
 3人はピアノの演奏が得意ということで、夕食後には家にあるピアノを使って小さな演奏会が始まりました。演奏が始まると、その場にいる全員が気持ちよさそうに静かに聞いていました。ホストファミリーと3人が打ち解けた瞬間でした。

### 帰国の日。次は姉妹都市交流締結40周年

17日(水)、帰国の朝、たくさんの方々が訪問団を見送るために集まりました。滞在中、訪問団は多くの町民と出会い、日本の文化を体験し、楽しく有意義な時間を過ごしたはずですが、訪問団は多くの思い出を振り返りながら、お世話になったホストファミリーとの別れを惜しみ、帰国の途につきました。  
 数々の人々の心を動かしてきたフッドリバー市と鶴田町の姉妹都市交流は、これからも友情と絆を育みながら広がり続けていくことでしょう。

来年は、フッドリバー市との姉妹都市締結40周年の節目の年を迎えます。それにあたり、フッドリバー市から訪問団が当町を訪れる予定です。私たちの「友」であるフッドリバー市の皆さんが再び多くの思い出をつくれるように、私たちみんなで温かく迎えてあげましょう。

- ①ホストファミリーの石岡 伶奈さんの家での夕食
- ②ホストファミリーの大坂 拓也さん(第32回中学生大使)の家では、バーベキューをしました。
- ③つるたまつりの龍巻寿司に巻き手として参加した訪問団の皆さん

## フッドリバー市からの訪問団の皆さん



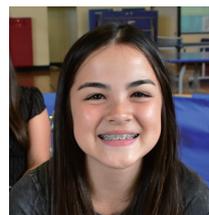
ネイサン・ヴァン・ドールン



ジョー・ライツ



キャンベル・ローディガー



ミーカ・マックナイト



アビゲイル・ランキン



タレン・シリング



ラケル・クーパー



レイン・ピーカー



チャールズ・ビッグフォード



ダコダ・クラハラ



リリィ・ウェブスター



ブリガム・ウェブスター



ロート・ラモス・オルテガ



リサアン・カワチ



ニック・スワイヤーズ



クリスティ・ヴァン・ドールン